

仙台七夕まつり開催

今年も仙台七夕まつりが8月6日(土)、7日(日)、8日(月)の日程で開催されました。曜日繰りと天候にも恵まれ、当初予想されていた220万人を上回る、228万3千人の人の出でにぎわった3日間。市民観光客が、仙台の誇る紙の祭典を楽しみました。



多くの観光客が飾りをかき分けながら七夕見物を楽しんだクロスロード商店街(中央通り商店街・金賞)。



地域ぐるみで昔ながらの七夕の良さを受け継ぐ根白石商店会(北地区・金賞)。



テーマを「キャラクター」と定め、地域一体となって取り組んだ連坊商興会(若林区太白区地区・金賞)。



今年は3つの仕掛物飾りがお目見え。上は朝市商店街振興組合、真ん中はフォーラス前、下は一番町四丁目商店街振興組合の仕掛物。



仙台駅前周辺・宮城野区地区で初めて金賞を受賞した仙台駅東口商工業協同組合(写真右)では、新たに観光案内所を設けておもてなしに努めた。



通りの奥まで飾りが並び上杉中央商店会(青葉区周辺地区・金賞)。



青空の下で飾りが風にたなびく一番町四丁目商店街(東一番通り商店街・金賞)。

おまつり広場



今年も仙台七夕おまつり広場は多くの人でにぎわった。ステージでは3月の北海道新幹線開業を記念してミスはこだてPR隊が函館の魅力を紹介(上段中央)。七夕飾り作り体験コーナーには今年も多く家族連れが訪れた(右下)。つなぎ横丁では大道芸人が道行く人を楽しませました(下段中央)。



おもてなし



昨年に引き続き結成された仙台七夕おもてなし隊は、400人を超える方々の協力により、七夕見物の皆さんをサポート(写真右・上段中央)。バスツアーは今年も3コースで実施し、参加者に周辺部の飾りを紹介した(上段左)。市内中心部の4カ所に設けた観光案内所では高校生ボランティアが活躍(下段左)。今年の案内所には外国人観光客の姿も多く見られた(下段中央)。

仙台七夕まつりは夜もイベントが満載。七夕まつり前日の5日に開催された花火祭には50万人が来場。他、まつり期間中の定禅寺通り周辺では盆踊りなどが行われ、瑞鳳殿では恒例の七夕ナイトが来訪者を魅了した。→

生徒児童の七夕飾り



東日本大震災から始まった「児童生徒による七夕飾り」は6回目を迎え、今年も多く見物客の目を楽しませました。



右は仙台市出身の人気漫画家荒木飛呂彦さんの代表作「ジョジョの奇妙な冒険」とのコラボレーション飾り。真ん中は今年初めて飾り付けに参加した仙台銀座親和会。左は毎年行われているサンモール一番町商店街の紙芝居の様子。

夜の催し

